

事業番号	05 03 08	事業改善シート (27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	医学生修学資金等貸与事業			担当課	部局	健康福祉部	
総合5か年計画	プロジェクト	4-4-3 健康づくり・医療充実プロジェクト		課・室	医療推進課医師確保対策室		
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり		E-mail	<a href="mailto:doctor@pref.nagano.lg.jp">doctor@pref.nagano.lg.jp</a>		
		3 医療従事者の養成・確保		実施期間	H18 ~		

### 1 事業の概要

目指す姿	全国的な医師不足の中で、修学資金等の貸与を受けた医学生等が、将来知事が指定する県内の公立・公的医療機関等に勤務することにより医師不足の解消を図る。 成果目標：人口10万人当たり医療従事医師数 205人(H22) ⇒ 230人(H29) 参考 211.4人(H24)
------	---

現状 (予算編成時)	依然として県内の医療機関における医師不足が続く中で、中長期的に医師を確保し、県内の医師不足病院等への配置を行い、医師の絶対数の確保と地域偏在の解消を行う必要がある。
------------	--

県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施：実施は困難	県内の医師不足の解消を目的として、医学部定員増を条件として県が実施することとされている。 長野県医学生修学資金貸与規程、長野県臨床研修医研修資金貸与規程、地域医療再生計画

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H27)					
	新たに医学生等に貸与を行い、貸与者総数を増やすことにより、将来知事が指定する県内の公立・公的医療機関等に勤務する医師を確保する。					
	② 事業内容 (単位：千円)					
	項目	実施方法	H27事業実績	H27 (当初)	H27 (決算)	H28 (当初)
	1. 医学生修学資金貸付金	直接	将来県内の医療機関の医師として勤務しようとする医学生に対し、修学資金を貸与 ・貸与月額20万円 ・貸与期間の1.5倍、知事が指定する県内の公立・公的医療機関等に勤務した場合に返還免除	307,200	286,800	312,000
2. 臨床研修医研修資金貸付金	直接	産科、小児科、外科を目指す臨床研修医に対して研修資金を貸与 ・貸与月額20万円 ・貸与期間の2倍、知事が指定する県内の公立・公的医療機関等に勤務した場合に返還免除	2,400	4,800	16,800	
3. 産科専門研修医研修資金貸付金	直接	-	-	-	12,000	
合計			309,600	291,600	340,800	

事業コスト	区分(単位：千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
	前年度繰越				
	当初予算	290,400	295,200	309,600	340,800
	補正予算	-32,400			
	合計(A)	258,000	295,200	309,600	340,800
	一般財源	220,400	230,400	218,400	328,800
	県債				
	国庫支出金				
	その他	37,600	64,800	91,200	12,000
	決算額(B)	258,000	272,400	291,600	
概算人員数	職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00
概算人員費	概算人員費(C)	16,516	16,516	16,552	16,552
概算事業費	概算事業費(B(A)+C)	274,516	288,916	308,152	357,352

成果目標の達成状況					
項目	H26末 (実績)	H27			H28 目標
		目標	成果	達成状況	
医学生修学資金等貸与者総数	116	129	125	未達成	142人
義務年限履行者数	30	49	47	未達成	55人
人口10万人当たり医師数					230人 (H29)

目標に対する成果の状況	貸与者総数は、新規貸与応募者数が募集人数を下回ったこと等により、義務年限履行者数は、専門研修を県外で受ける貸与者がいたこと等により目標を達成できなかった。
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 産科医師不足に対応するため、平成28年度から新たに産科研修医研修資金貸付金(上記②事業内容2の内数及び3)を設け、貸与を行う。
--------------------	--